

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局 街路課
 担当課長名：松谷 春敏

事業名：名鉄名古屋本線	事業区分：街路	事業主体：名古屋市
起終点：自：名古屋市緑区浦里五丁目 至：名古屋市緑区左京山	延長：2.3 km	
事業概要：本事業は、名鉄名古屋本線の天白川左岸から左京山駅間の約2.3kmを連続立体交差化するものである。本事業の実施により、7箇所の踏切除却及び高針大高線ほか2路線の都市計画道路や一般市道を立体化して11箇所の交差道路を整備することにより、踏切事故及び地域分断を解消し、交通流の円滑化を図る。		
H2年度事業化	H4年度都市計画決定 (H年度変更)	H7年度用地着手
H10年度工事着手		
全体事業費：408億円	事業進捗率：56%	供用済延長：km
計画交通量	台/日	
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 4.5 (残事業)	総費用：(残事業)/(事業全体) /311億円 (事業費)：/311億円 (維持管理費)：/億円
	総便益：(残事業)/(事業全体) /1,398億円 (走行時間短縮便益)：/951億円 (走行費用減少便益)：/148億円 (迂回交通減少便益)：/297億円 (高架下利用便益)：/2億円	基準年：平成13年
感度分析の結果		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保〔踏切交通遮断量10,000台時/日以上上の踏切道の除却が期待される〕 ・個性ある地域の形成〔鉄道により一体的発展が阻害されている地域を解消する〕		
関係する地方公共団体等の意見		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・関連事業である鳴海駅前第2種市街地再開発事業の建築工事が着手し、平成17年度完了を目指し施工中である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・天白川左岸から都計鳴子団地大高線までの区間の仮線切替が完了し、残る区間の仮線工事を施行中 ・仮線切替が完了した区間については、現在、高架化に向け施工中		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		
施設の構造や工法の変更等		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。